

自己評価報告書

平成23年4月30日現在

機関番号：32644

研究種目：基盤研究(B)

研究期間：2008～2011

課題番号：20390548

研究課題名(和文)

遺伝相談の方法論と医療者の学習支援に関する基礎的研究

研究課題名(英文)

Basic study for strategy of genetic counseling and learning-support for health professionals

研究代表者 溝口 満子(MIZOGUCHI MICHIKO)

東海大学健康科学部 教授

研究者番号：40149430

研究分野：医学

科研費の分科・細目：看護学

キーワード：遺伝相談 相談方法論 学習支援

1. 研究計画の概要

本研究は、人々にとって遺伝医療がどのような形で進展していけばよいのかを検討する土台にするために、次の3点を目的としている。

- (1) 遺伝相談を介して、来談者や医療関係者という相談への参加者が、相談している問題をいかに理解し経験していくのか、その実態を参加者各々の語りから明らかにし、問題の成り立ちの条件(論理)を分析すること。
- (2) 明らかにされた実態をもとに、遺伝相談のための事例集を作成すること。
- (3) 作成した事例集からの学び方を参加者とともに検討し、事例集を含めた遺伝相談ガイド(医療関係者、および医療関係者となる学生用)を作成すること。

2. 研究の進捗状況

(1) 当事者へのインタビューの詳細な分析を現在進行中で、問題の成り立ちの条件(論理)を導くことはまだ途上にある。

(2) 学習教材としての事例作成

出生前診断を受けた妊婦(カップルの場合もあり)へのインタビューを、計5名(組)、及びこれらの相談に関わった医師・看護師にもインタビューを行い、相談の場で当事者・医療者間に生じたことを分析し、これを元に学

習教材としての事例を作成した。インタビューから出生前診断を受けるそれぞれの過程において、当事者がどんな心情でいるのかに焦点を当てて記述し、そうした心情を看護者がどのようにして汲み取ってゆくのが学習課題となるように作成した。

(3) 事例を用いたワークショップの開催による学習方略の検討

1日のワークショップを開催し、11名の出生前診断を受ける人への対応経験のある助産師が参加した。事例から当事者の気持ちを読み解き、対応を話し合い、ロールプレイを実施し、フォーカスグループインタビューによりその評価を行った。事例の読み解きの過程では、参加者の経験が討議の場に次々と持ちだされ、それに触発されて多角的に当事者たちの心情理解が深められた。対応に関して討議したが、実際のロールプレイでは、その通りに演ずることはできないことが身をもって体験できた。しかし、うまく演じることが重要ではなく、当事者の心情をどれだけ深く、当事者体験として汲み取れるかが重要であることが確認できた。参加者の経験は学習の質を高める重要な要素であった。次年度フォローアップワークショップを計画しており、学習方略をさらに詰める予定である。

3. 紙上事例を、ドラマ化して視聴することで学習効果がどのように変化するか検証するため、事例のDVDを試作した。次年度完成をさせ、フォローアップワークショップに使用予定である。

3. 現在までの達成度

②概ね順調に進展している。
インタビュー結果の詳細な検討が若干遅れているが、次年度に十分実施できる。

4. 今後の研究の推進方策

今年度教材として作成した事例及びドラマ化したDVDを用いた学習効果について検討をすることと、事例のいくつかのバリエーションあるシナリオを作成し、学習内容を増やす。それに応じた学習ガイドを作成し、学習方法を提案する。
これらの成果を学会において発表する。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計0件)

[学会発表] (計3件)

(1) 溝口満子 横山寛子 近藤朱音 高橋千果 森屋宏美 藤田みどり 辻 恵子 大貫優子 和泉俊一郎 高木繁治: 遺伝子診療科における出生前診断の遺伝相談 (その1)
第34回日本遺伝カウンセリング学会 2010年5月30日 東京女子医科大学 (東京都)

(2) 森屋宏美 溝口満子 横山寛子 近藤朱音 高橋千果 藤田みどり 辻 恵子 大貫優子 和泉俊一郎 高木繁治: 遺伝子診療科における出生前診断の遺伝相談 (その2) ~羊水検査に伴う遺伝相談を振り返って~
第34回日本遺伝カウンセリング学会 2010年5月30日 東京女子医科大学 (東京都)

(3) Michiko Mizoguchi, Akane Kondo, Shunichiro Izumi, Hiroki Maeda, Minako Morita, Yumi Nishimura, Kasane Shibue, Hiroko Yokoyama, Kazumi Takahashi, Yuko Onuki : Quality assessment of genetic counseling with focus on prenatal diagnoses -Bilateral survey of counseling staff and clients-, European Human Genetics Conference 2010, 2010, July, Gothenburg, Sweden